

SJR 54 号 編集後記

今号での最大のニュースは2008年2月23日にWINDSの打上げが成功裏に行われたことであろう。その後も順調に推移していると聞く。本衛星の意義については地上のインターネットの発展によりネガティブなことが言われることがあるが、高速ということばかりでなく、当初から目指されたアジア太平洋地域を含む広大な地域でのデジタルデバイド解消の意義は今も薄れていない。今後、多くの実験成果が期待される。

WINDSに関連して、総務省岡野課長からExecutive Commentを頂きました。また、TCCS委員長のHouston氏からもExecutive Commentを頂きました。特集ではパイチマン、大内両氏による衛星通信利用の最近の展開に関する記事、また、ホーバー氏によるAIAA記事の翻訳は最近の衛星通信事情を的確に捉えている。

記事を著して頂いた方々に感謝申し上げるとともに、読者皆様のコメントをお待ちします。(TI)